

スイカ 「ラグビーボール」

神奈川県園芸試験場三浦分場（三浦市）において、昭和34年交配の「嘉宝」×「都3号」の後代に、同年交配の「乙女」×「旭大和」の後代を昭和43年に交配し、その後代に「紅こだま」を昭和52年に交配した選抜後代の固定品種で、昭和55、56年に特性の確認を行い、昭和56年に育成を完了しました。昭和57年2月24日に品種登録出願を行い、昭和58年5月30日に品種登録されました。なお、育成者権は平成10年5月31日に消滅しました。

品種特性は、主づるの長さ、節数は中、本葉は大きさ中で、欠刻はやや深い。子房は紡錘形で細長く、毛じが多い。果実は重さ2～2.5kgでやや軽く、形は長楕円形に近いラグビーボール型で、果長/果径比は1.8～1.9、花落痕の大きさはかなり小で点状、果皮の地色はやや濃緑、網状斑は極少、条斑は12～14条の中でやや細く、色は濃緑。種子は小さく楕円形、種皮は暗赤黄で、斑紋・斑点は無。早生で成熟日数は短、成熟積算温度は620～650、着果の安定は中。外果肉の厚さは4～6mmで薄く、内果肉は紅で、繊維はやや少、糖度は高となっています。

